五 重 御 和 讃







ポイント注意 変化部「ま白き衣に」は心静かに、後段4小節「五重法会の」を力強 く、喜びの気持ちで唱えあげて「えんにあう」と納めます。

(歌詞は48ページ)

五 重 和 讃

池上 霊心 作詞

宿善開発

1 木思議な縁に むすばれて 昨日に変る 我がすがた まらき衣に 身をつつみ 五重法会の 錠に会う

初重

2 記・やみ・なやみ 果てしなく 三つの汚れに 身をまかせ 今日を楽しむ 愚かさに 気づかせ給う 親ごころ

二重

三重

4 修行の道は 数あれど 思いわずろう こともなく 南無阿弥陀仏 ひとすじに ほとけまかせの 身の安さ

四重

5 たとえ火の海 猛る水 あれどひたすら 南無阿弥陀 申す許りを つとめにて 浄きみ国に 生まれゆく

第五重

6 **営が計らい** 打ちすてて 唯み心に したがえば お慈悲の中は **暮**白和 **南無向弥陀仏 向弥陀仏**

(音譜は44ページ)